

(無断掲載を禁ず)

平成23年度  
第6回 富士山検定試験

問題用紙

上級検定  
(1級・2級)

13時開始 制限時間90分

**注意事項**

- ・ 解答はすべて解答用紙に記入すること。
- ・ 解答用紙の記入にあたっては鉛筆を使用すること。
- ・ 誤って記入したときは、跡の残らないように消しゴムで消すこと。
- ・ 記述問題について、漢字がわからない時には、ひらがなやカタカナで書いても減点はされない。
- ・ 論述式の問題について、文章として完成されていなくても部分点が配点されることもある。

(平成24年2月19日)  
富士山検定実行委員会

■次の文章は、富士山の世界文化遺産推薦書原案の「資産全体の説明」および「山頂の信仰遺跡」の箇所である。(1)～(10)は空欄を埋める選択肢を選び、(11)～(30)の下線部に関連する質問およびその他の質問に答え、選択肢を選びなさい。

〈資産全体の説明〉

富士山は、標高3,776mと日本一の高さを誇る独立峰である。高度を増すごとに山腹の傾斜が急になる美しい懸垂曲線を呈し、類まれな優美さを持つ円錐形の山容を有した( 1 )成層火山である。その山体は南の駿河湾の海浜にまで及び、ひとつの山体の連続的な斜面による海面から山頂までの高さは世界的にも有数である。

富士山は、日本列島のほぼ中央に位置し、フィリピン海プレート、ユーラシアプレート、北アメリカプレートの三つのプレートが会合し、さらにその下に東側から( 2 )プレートが沈み込んでいる特異な地点に存在する。富士山は、おもに新生代第三紀中新世の海底火山噴出物からなる地層の上に第四紀更新世に造り上げられた先小御岳火山とそれに重なる( 3 )火山を土台として、古富士、さらにそれを覆う新富士山の4層構造で構成されている。山頂部の火口はおよそ( 4 )を最後に噴火していないが、フィリピン海プレートが北進しユーラシアプレートを南南東方向から押し続けているため割れ目が発生することによって、山頂を通過して北北西に向かう方向にほぼ直線的に側火山が並び、有史以降も火山活動を行ってきた。

富士山が過去に流出した溶岩などの火山噴出物は、適度な粘度を持つために美しい裾野を持つ山容を形成しながら、山頂を中心として約15～20km(最大約30～40km)の範囲に広がった。山麓には数多くの風穴・溶岩樹型等の地形が見られ、溶岩流の末端部では富士山への降水を起源とする飲用に適した豊富な湧水(日量約450～680万m<sup>3</sup>、現在最大の湧水は日量約100万m<sup>3</sup>の柿田川)が見られる。富士山北麓ではこれらの湧水や降水を起源とする湖沼が点在している。

山城の標高約2,500m付近の( 5 )より上方は富士講(富士山信仰の集団の一つ)信者には「焼山」又は「ハゲ山」と呼ばれ、神聖な地域ないし他界(死後世界)と考えられていた。吉田口を拠点とした富士講信者はさらに、森林地帯を「木山」又は「深山」、地域住民による資源利用のため草原となった地帯を「草山」又は「カヤ原」と呼び習わし、俗界である「草山」と死の世界である「焼山」を往復することでこの世の罪と穢れを消すという富士登拝の思想と空間認知とを関連付けていた。また、特に山麓に広く見られる湖沼群や湧水地は、水垢離とよばれる登山前に身を清める行為に最適な場所となり、( 6 )巡りと称する富士五湖等を巡る水垢離も行われた。現在でも柿田川をはじめ各地の湧水が「清浄な水」、あるいは「霊水」として扱われている。

また、冬季に一般的に見られる雪を戴いた姿や周辺の湖や海岸などの展望地から見られる富士山の稜線の持つ神秘的な美しさは、時代を超えて多くの人々に賞賛され、様々な芸術的な創作活動に対する意欲を掻き立ててきた。特に、富士山は標高約1,500mの地点で傾斜角の変化率が大きくなっており、それ以上が「山体」として認識されるとともに、優美な曲線を描く稜線が絵画など

の対象とされることが多い。この範囲は、各登山道における山体の神聖性に関する境界の一つである「( 7 )」の標高以上の範囲とほぼ一致している。

#### 〈山頂の信仰遺跡〉

富士山山頂部には、火口壁に沿って神社等の複数の宗教関連施設が所在する。富士山への信仰登山が開始されると、修験道の影響を受け山頂部において寺院の造営や仏像等の奉納がおこなわれるとともに、山頂部での宗教行為が体系化されていった。道者は山頂周辺において「( 8 ) (=仏の来迎と見なされたブロッケン現象)」(のち「ご来光(日の出)」)を拝み、噴火口に鎮座するとされる神仏(浅間大神や、その本地仏とされる大日如来)を拝し賽銭(散銭)をささげ、火口壁にいくつかあるピークを仏教の曼荼羅における仏の世界に擬して巡拝する「( 9 )めぐり(八葉めぐり)」という行為を行なうことが一般的であった。

1874年、山頂の仏教的施設及び仏像は( 10 )の影響によって撤去され、仏の名にちなんだピークの名称も変更され、寺院は神社に改変された。

(1)

(ア) 花崗岩質 (イ) 安山岩質 (ウ) 玄武岩質 (エ) 流紋岩質

(2)

(ア) 駿河湾 (イ) 伊勢湾 (ウ) 大西洋 (エ) 太平洋

(3)

(ア) 小御岳 (イ) 小富士 (ウ) 大御岳 (エ) 大富士

(4)

(ア) 5万年前 (イ) 1万年前 (ウ) 2200年前 (エ) 300年前

(5)

(ア) 落葉樹帯 (イ) 森林限界 (ウ) 苔林 (エ) 高山植物帯

(6)

(ア) 四海 (イ) 六海 (ウ) 八海 (エ) 十海

(7)

(ア) 丸尾 (イ) 馬返 (ウ) 天狗坂 (エ) 水垢離場

(8)

(ア) 御陣馬 (イ) 御胎内 (ウ) 御神徳 (エ) 御来迎

(9)

(ア) お鉢 (イ) お釜 (ウ) お鍋 (エ) お椀

(10)

(ア) 神仏分離 (イ) 脱亜入欧 (ウ) 政教分離 (エ) 八紘一字

(1 1) 『山頂を通過して北北西に向かう方向にほぼ直線的に側火山が並び』とあるが、富士山北北西にある、最大級の大きさの側火山は何か。

(ア) 御坂山            (イ) 毛無山            (ウ) 米倉山            (エ) 大室山

(1 2) 『山頂を通過して北北西に向かう方向にほぼ直線的に側火山が並び』とあるが、次のうち、富士山南南東に位置し「フジヤマリゾートぐりんぱ」付近にある側火山はどれか。

(ア) 鐘子山            (イ) 愛鷹山            (ウ) 天神山            (エ) 三国山

(1 3) 『風穴・溶岩樹型等の地形』について、富士山北麓にあり特別天然記念物になっている溶岩樹型は、何の溶岩樹型という名称か。

(ア) 吉田            (イ) 鳴沢            (ウ) 船津            (エ) 西桂

(1 4) 『風穴・溶岩樹型等の地形』について、御殿場市にあるの溶岩洞窟は何風穴か。

(ア) 滝ヶ原            (イ) 足柄            (ウ) 駒門            (エ) 大淵

(1 5) 『飲用に適した豊富な湧水』について、富士山周辺で採取できる飲料水に特徴的に含まれている成分はどれか。

(ア) バナジウム            (イ) パラジウム            (ウ) カルシウム            (エ) コバルト

(1 6) 『湧水や降水を起源とする湖沼』について、富士五湖のうち最も小さい湖は次のうちどれか。

(ア) 精進湖            (イ) 本栖湖            (ウ) 河口湖            (エ) 四尾連湖

(1 7) 『湧水や降水を起源とする湖沼』について、相模川の源流となっている湖沼は次のうちどれか。

(ア) 田貫湖            (イ) 山中湖            (ウ) 浮島沼            (エ) 西湖

(1 8) 『火口壁に沿って神社等の複数の宗教関連施設』について、吉田口と須走口登山道側の頂上付近の標高3715メートルにある神社はどれか。

(ア) 山神社            (イ) 愛鷹神社            (ウ) 久須志神社            (エ) 左富士神社

(19) 『火口壁に沿って神社等の複数の宗教関連施設』について、富士宮口登山道を登りきったところにある神社は、富士山本宮浅間大社の何か。

- (ア) 天宮            (イ) 上宮            (ウ) 山宮            (エ) 奥宮

(20) 『仏の名にちなんだピークの名称』とあるが、昔、釈迦岳と呼ばれた峰で、3756メートルの二等三角点も置かれているピークは次のうちどれか。

- (ア) 白山岳            (イ) 位牌岳            (ウ) 黒岳            (エ) 越前岳

(21) 『仏の名にちなんだピークの名称』とあるが、三島岳（文殊ヶ岳）の近くにあり山頂の雪が溶けた時に出現することのある水場は、何と呼ばれているか

- (ア) カマス池            (イ) キビナゴ池            (ウ) コノシロ池            (エ) サワラ池



(29) 富士山頂と平地との気温差はおよそ何度くらいか。

(ア) 10度            (イ) 20度            (ウ) 30度            (エ) 40度

(30) 毎年、4月20日頃と8月20日頃に、ダブルダイヤモンド富士が撮影できることで有名な、富士宮市の湖はどこか

(ア) 猪之頭湖            (イ) 陣馬湖            (ウ) 上井出湖            (エ) 田貫湖



■次の文章は、富士山の登山道について書かれた文章である。(31)～(50)までの空欄に当てはまる選択肢を選びなさい。なお、文中に「年間登山者数」と書かれている場合、環境省が8合目赤外線カウンターで計測している年間登山者数の2005年から2010年までの6年間の平均の概数とする。

現在、主に使われる富士山の頂上まで至る登山道は、静岡県側に富士宮口、御殿場口、須走口、山梨県側に吉田口の合わせて4つがある。

富士宮口登山道は、富士山スカイライン登山区間の終点である新5合目から登山を始められる。新5合目の標高は( 31 )メートルで、4つの登山口のなかで最も標高が高い。年間登山者数は、約6万人である。富士山スカイラインは登山シーズン中、特に混雑する祝祭日を中心にマイカー規制が行われ、裾野市須山に位置し富士山の2合目にあたる( 32 )公園の駐車場に往復バスが発着する。登山道の入口には、外国人として初めて登山した( 33 )の碑が建てられている。登りと下りは、ほぼ同じルートを通るため混雑することがある。

混雑を避けるためには、「プリンスルート」を使う方法がある。このルートは、2008年8月に皇太子徳仁親王が登山を行った道であり、御殿場市観光協会などが宣伝している。富士宮口新五合目から登山をはじめ、( 34 )で分かれて宝永火口を経由し御殿場口登山道に入り頂上を目指す。

富士宮口登山道の基となったのは、大宮・村山口登山道である。富士山本宮浅間大社を起点とし、村山浅間神社を経て山頂南側にいたるルートであった。平安時代末期の僧である( 35 )の活動により、富士山南麓における登山が開始されたとされ、以後、修験者による組織的な登山がはじまった。

御殿場口登山道は、新5合目駐車場が標高1440メートルがスタート地点。年間登山者数は、約( 36 )である。1976年から毎年開催されている( 37 )の舞台ともなっている。新5合目一帯は天狗にまつわる伝説から( 38 )と呼ばれており、かつては盛んにスキーが行われていた。このルートは、かつて頂上あった富士山測候所に物資を運ぶのに主に使われていたことがあり、荷物を運ぶひとたちは( 39 )と呼ばれていた。

御殿場口登山道は、明治になって開削された道であり、その基となった古くからの南東部の登山道は、( 40 )口登山道である。この登山道は一部が陸軍演習場となり使用不可となったこともあり衰退し、現在は当時の道をすべて辿ることはできない。

須走口登山道は、古くは富士浅間神社を起点とする登山道であったが、現在は( 41 )を使い車で新5合目まで行くことができ標高は2000メートルである。年間登山者数は、約( 42 )である。本8合目からは吉田口登山道と合流する。下山道は途中から( 43 )となっているが、御殿場口ルートのそれと比べて大きな石が多い。

吉田口登山道は、山梨県側から登れる登山道である。1964年にできた富士スバルラインの終点が5合目駐車場となっている。この標高は( 44 )メートルである。以前は、特に五合目駐車場からの道は「河口湖口」の名前で呼ばれていたが、名称統一のため近年は吉田口と呼ばれる。首都圏からのアクセスが良いこともあり、多くの登山者がこのルートを使う。年間登山者数は約15万人である。5合目からはお中道めぐりができるが、西方面(反時計回り)へ進むと、( 45 )の手前まで行くことができ、そこから先は進むことができない。

古くからの吉田口登山道は、北口本宮富士浅間神社を起点としており、6合目で富士スバルライン5合目からのルートと合流する。江戸時代からは、富士講の開祖といえる( 46 )が吉田口を利用して修行を行い、江戸時代中期の食行身禄が7合5勺目の( 47 )で、入定(宗教的自殺)にあたって信者の登山本道を吉田口と定めた。このため多くの道者が吉田口を使って山頂を目指した。

世界文化遺産の構成資産としては、北口本宮浅間神社も含め吉田口登山道全体が「富士山域」に含まれている。北口本宮富士浅間神社は富士講や吉田御師と密接な関係を持ちながら発展した神社である。1730年代には、富士講の指導者である( 48 )の寄進によって境内の建造物群の修復工事が行われた。富士講信者は、「( 49 )、お山は晴天」などの念仏を唱えながら御師住宅からこの神社を経由して山頂を目指した。

夏の登山の山じまいを告げるのが、毎年8月26日に開催される吉田の( 50 )である。この祭りは木花開耶姫命の神話に基づくといわれている。

(31)

(ア) 2350 (イ) 2400 (ウ) 2450 (エ) 2500

(32)

(ア) 天神山 (イ) 岩本山 (ウ) 水ヶ塚 (エ) 乙女森林

(33)

(ア) オールコック (イ) ハリス (ウ) プチャーチン (エ) ヒュースケン

(34)

(ア) 新6合 (イ) 新7合 (ウ) 元祖7合 (エ) 本8合

(35)

(ア) 西行 (イ) 末代 (ウ) 源信 (エ) 法然

(36)

(ア) 1万人 (イ) 5万人 (ウ) 9万人 (エ) 17万人

(37)

(ア) 富士山マラソン (イ) Mt. 富士ヒルクライム  
(ウ) 富士登山駅伝 (エ) モトクロス富士

(38)

(ア) 十里木 (イ) 足柄 (ウ) 印野 (エ) 太郎坊

(39)

(ア) 先達 (イ) 強力 (ウ) 飛脚 (エ) 駕籠かき

(40)

(ア) 印野 (イ) 玉穂 (ウ) 大淵 (エ) 須山

(41)

(ア) ふじあざみライン (イ) 東富士五湖道路  
(ウ) 富士パノラマライン (エ) 御殿場道路

(42)

(ア) 1万人 (イ) 4万人 (ウ) 10万人 (エ) 18万人

(43)

(ア) 滑沢 (イ) 砂走り (ウ) 膝崩れ (エ) 草転び

(44)

(ア) 2105 (イ) 2205 (ウ) 2305 (エ) 2405

(45)

(ア) 本栖湖 (イ) 神縄断層 (ウ) 白草流し (エ) 大沢崩れ

(46)

(ア) 伊奈忠順 (イ) 宍野半 (ウ) 伊藤六郎兵衛 (エ) 長谷川角行

(47)

(ア) 烏帽子岩 (イ) 虎岩 (ウ) 袴岩 (エ) 龍岩

(48)

(ア) 古郡重高 (イ) 高田藤四郎 (ウ) 村上光清 (エ) 江川太郎左衛門

(49)

(ア) 一切皆苦 (イ) 五戒十重 (ウ) 六根清浄 (エ) 七珍八宝

(50)

(ア) 帯祭り (イ) だるま市 (ウ) 火祭り (エ) わらじ祭り

■次の質問に答え、選択肢を選びなさい。

(5 1) キク科の多年草で富士山に多く咲く花で、秋で直径10 cmにもなる大形の紫色の花をつける植物は、次のうちどれか。

(ア) 雪割草 (イ) フジザクラ (ウ) フジアザミ (エ) ヤマユリ

(5 2) 富士山の標高2500メートル付近でよくみられる植物は、次のうちどれか。

(ア) オンタデ (イ) ハイマツ (ウ) ススキ (エ) タンポポ

(5 3) 富士山における植物の垂直分布のうち、「山地帯」・「落葉広葉樹林帯」などとよばれるのは、次のうちどのあたりの標高か。

(ア) 2500メートル以上 (イ) 1600～2500メートル  
(ウ) 700～1600メートル (エ) 700メートル以下

(5 4) 山中湖と忍野盆地の間の純林が、天然記念物に選ばれているのはどの植物か。

(ア) ヒノキ (イ) アカマツ (ウ) ツツジ (エ) ハリモミ

(5 5) 富士山周辺でみることができる動物は次のうちどれか。

(ア) ライチョウ (イ) オオサンショウウオ  
(ウ) ニホンカモシカ (エ) イリオモテヤマネコ

(5 6) 富士山より北側で富士山を見ることができる、もっとも遠い都道府県はどこか。

(ア) 福島県 (イ) 埼玉県 (ウ) 山形県 (エ) 青森県

(5 7) 約1万1000年前からはじまる「新富士火山」の活動期のうち最も大量の溶岩を流出させたのはどの時代か。

(ア) 1万1000年前から8000年前  
(イ) 8000年前から4500年前  
(ウ) 4500年前から3200年前  
(エ) 3200年前から2200年前

(58) 次のうち、富士山南麓に流出した溶岩流はどれか。

(ア) 鷹丸尾溶岩 (イ) 猿橋溶岩 (ウ) 剣丸尾溶岩 (エ) 大淵溶岩

(59) 西湖畔などでみられる、新富士火山の溶岩に特徴的な、ねばりけが低く流動性の高い溶岩が急速に冷えて固まった状態を何というか。

(ア) 流紋岩 (イ) 縄状溶岩 (ウ) 枕状溶岩 (エ) 溶岩ドーム

(60) 駿東郡小山町にあるスラッシュ雪崩で形成された溪谷は何という愛称がつけられているか。

(ア) ナイアガラ (イ) エアーズロック  
(ウ) グランドキャニオン (エ) フィヨルド

■次の文章は、富士山の浮世絵について書かれた文章である。(61)～(65)に入る最も適切な語句を、選択肢から選べ。

江戸を代表する浮世絵師である葛飾北斎は、70歳を過ぎてから「富嶽三十六景」シリーズを描き始めた。当初36図であったが、その後書き足されたため全部で(61)ある。中でも特に著名なのが赤富士と呼ばれる「凱風快晴」で、「凱風」とは(62)という意味である。凱風快晴の「赤富士」に対して「黒富士」と称されるのが「(63)」であり、嵐の中でも微動だにしない力強い富士が描かれている。

北斎と並び称される浮世絵師・歌川広重も「不二三十六景」「富士三十六景」などの富士シリーズを描いており、当時の江戸において富士山の人気が高かったかがうかがえる。代表作の「東海道五十三次」のうちいくつかにも富士が登場し、宿場の一つ(64)を描いた作品には、富士山が東海道中で逆側に見える「左富士」が描かれている。現在、富士山景勝の地として名高いさった峠にも近い(65)内に「東海道広重美術館」があり作品が展示されている。

(61)

(ア) 38図 (イ) 46図 (ウ) 60図 (エ) 100図

(62)

(ア) 南からのそよ風 (イ) 台風による暴風 (ウ) 北からの乾いた風 (エ) 無風

(63)

(ア) 甲州三島越 (イ) 山下白雨 (ウ) 日本橋 (エ) 尾州不二見原

(64)

(ア) 蒲原宿 (イ) 原宿 (ウ) 三島宿 (エ) 吉原宿

(65)

(ア) 由比本陣公園 (イ) 日本平運動公園 (ウ) 駿府公園 (エ) 富士川緑地公園

■次の質問に答え、選択肢を選びなさい。

(66) 平安時代に都良香が著したといわれる書物で、富士山頂の様子が記されているのは、次のうちどれか。

(ア) 扶桑略記 (イ) 芙蓉記 (ウ) 富士山記 (エ) 富士根源記

(67) 平安期から江戸末期まで、代々富士山本宮浅間大社の大宮司を世襲してきた氏族は、次のうちどれか。

(ア) 富士氏 (イ) 富士宮氏 (ウ) 富士吉田氏 (エ) 富士見氏

(68) 食行の最期をみとった田辺十郎右衛門が記した書物は、次のうちどれか

(ア) 勝山記 (イ) 富士山縁起 (ウ) 三十一日の巻 (エ) 富士案内

(69) 上条大石寺や西山本門寺など、駿河の国に建立された日興門流の有力本山を総称して何と呼ばれているか。

(ア) 富士五山 (イ) 富士七寺 (ウ) 富士八山 (エ) 富士十寺

(70) 常陸国風土記には、どの表記で「フジ」が登場するか。

(ア) 不死 (イ) 不二 (ウ) 布士 (エ) 福慈

(71) 宝永噴火とその後を描いた、新田次郎の歴史小説は次のうちどれか。

(ア) 富士に死す (イ) 富士山頂 (ウ) 芙蓉の人 (エ) 怒る富士

(72) 「めで多き富士」富士山を題材にした描いた日本画家で、2008年1月に103歳で亡くなった日本画家は誰か。

(ア) 島成園 (イ) 片岡球子 (ウ) 上村松園 (エ) 三岸節子



(73) 「霧しぐれ富士を見ぬ日ぞおもしろき」と詠んだ俳人は誰か。

(ア) 芭蕉 (イ) 一茶 (ウ) 蕪村 (エ) 嵐雪

(74) 富士山を花に例えたことから、富士山の異称となっているものは次のうちどれか。

(ア) 薔薇 (イ) 芙蓉 (ウ) 水仙 (エ) 月見草

(75) 平安時代、朝廷の人事を予言した紙が富士川の上流から流れてくると書いた本は何か。

(ア) 枕草子 (イ) 更科日記 (ウ) 源氏物語 (エ) 大鏡

(76) 「河口湖」の中にある島は、次のうちどれか。

(ア) いの島 (イ) うの島 (ウ) えの島 (エ) おの島

(77) 富士山の「御縁年」と呼ばれる干支は次のうちどれか。

(ア) 申年 (イ) 辰年 (ウ) 巳年 (エ) 未年

(78) 富士山河口湖音楽祭を監修している指揮者は誰か。

(ア) 小澤征爾 (イ) 大野和士 (ウ) 佐渡裕 (エ) 西本智実

(79) 富士宮市が推進している、地元の「食」を活かしたまちづくり構想の呼称は何か。

(ア) フードタウン (イ) フードビレッジ  
(ウ) フードマウンテン (エ) フードバレー

(80) 御殿場市の演習場周辺地域の振興のために作られた富士山交流センターの通称は何か。

(ア) 万葉の森 (イ) 樹空の森 (ウ) 野鳥の森 (エ) ハイジの村

以降の問題については、解答用紙2に記入しなさい。

問A (5点)

「貞観の噴火」について、その発生した年代や規模、噴火によってどのように地形が変わったかを250字以内で記述しなさい。

使用する語句 (順不同) : 長尾山 青木ヶ原 本栖湖 西湖 精進湖

問B (5点)

「富士山の火山防災」について、どのような災害が予想され対策が立てられているか、250字以内で記述しなさい。

使用する語句 (順不同) : 火山灰 泥流 ハザードマップ

問C (5点×2)

世界文化遺産推薦書の資産リストに掲載されている構成資産のうち、「富士山域」以外のもの(下記参照)を2つ選び、その資産の所在地などの概要、構成資産となっている理由、どのような保存計画がたてられているのか(適用されている法律など)、記入例を参考に250字以内で説明せよ。なお推薦書では忍野八海の各池はそれぞれ別々に掲載されているが、ここでは全体で一つとする。

■構成資産一覧

富士山本宮浅間大社 山宮浅間神社 村山浅間神社 須山浅間神社 富士浅間神社  
河口浅間神社 富士御室浅間神社 旧外川家住宅 小佐野家住宅 山中湖 河口湖  
忍野八海 船津胎内樹型 吉田胎内樹型 人穴富士講遺跡 白糸の滝 三保松原

<記入例>

選んだ構成資産：北口本宮富士浅間神社

山梨県富士吉田市に位置する北口本宮富士浅間神社は、「信仰の対象」として富士山の普遍的価値を表す要素として、構成資産となっている(富士山域として)。室町時代から江戸時代にかけて本殿が建立され、特に江戸時代には富士講や吉田御師と密接な関係を持ちながら発展した。本殿・東宮本殿・西宮本殿はそれぞれ文化財保護法の下に重要文化財として指定され保護されている。(174文字)